

279 取り消し

280 待機PTCA症例によるmyosin light chain I (MLCI)の変化

田中春仁, 後藤絃司, 八木安生, 鷹津久登, 飯田真美, 出口富美子, 寺島 寧, 長島賢司, 澤 祥幸, 平川千里 (岐阜大学第2内科) 田中 孜 (岐阜市民病院) 今枝孟義 (岐阜大学放射線科)

心筋壊死の指標として血清CK値とりわけCK-MBが繁用されている。しかし、CK-MBの流出は細胞の障害による細胞膜の透過性亢進によっても生じ、必ずしも心筋壊死を示すものではない。一方、MLCIの流出は心筋線維の障害によるとされる。今回我々はPTCAによる短時間の冠動脈完全閉塞による心筋障害について検討する目的で狭心症患者を対象にPTCA前、後(8時間, 48時間)の計3回採取し、血清のMLCIの変化を検討した。その結果、48時間後の血清中MLCI濃度は狭心症例においては上昇は少なく、心筋梗塞後狭心症例ではPTCA前値の約2~3倍であった。

281 移植心急性拒絶反応の非観血的診断法 -RI標識リンパ球と抗ミオシン抗体の診断的鋭敏性の比較-

太田淑子、丹下正一、中野敬子、有竹澄江、牧 正子、日下部きよ子、重田帝子 (東京女子医科大学放射線科) 北村昌也、小柳 仁 (同心研外科) 廣江道昭 (東京医科歯科大学第二内科)

急性拒絶反応の病理は単核細胞が血管周囲から間質に浸潤し、さらに心筋細胞融解へと進行することが特徴である。ラット腹腔内異所性移植心モデルを用いて¹²⁵I標識抗ミオシン抗体は心筋細胞融解の重症度を、¹¹¹In標識リンパ球は単核細胞の浸潤度を表現することを確認した。(第28、29回日本核医学会総会にて発表。)

同一移植心モデルに二種のRI標識化合物を同時に投与し、組織へのRI集積度と光顕組織所見との対比から両者の診断的鋭敏性について比較検討した。

282 AMIにおける血中ミオシン軽鎖Iの経時的変動について一再開通の及ぼす影響一

吉田 裕, 坂田和之, 星野恒雄 (静岡県立総合病院循環器科) 武澤 充 (静岡県立総合病院核医学科)

intracoronary thrombolysis (ICT) 施行群 (I群) において血中ミオシン軽鎖I (LCI) を経時的に測定しその変動パターンをICT非施行並びに不成功群 (C群) と比較検討した。LCIの採血はI群では来院時、再開通直後、day 2からday 14まで、C群では来院時、day 2からday 14まで行った。I群ではLCIは来院時(発症4時間以内)は正常であるが、reperfusion直後(発症より6時間以内)は全例上昇(peak値の25-70%)を示した。C群では来院時(10時間から24時間)は正常値を示すものが多かった。I群のpeak値は発症2-4日に認められ、C群よりも早期に向かえる傾向があった。これは再開通によるwashoutが関与していると考えられた。

283 血中ミオシン軽鎖I測定の意味に関する検討

村上 稔, 末廣美津子, 福田容子, 福地 稔 (兵庫医大、核) 森田雅人, 成瀬 均, 岩崎忠昭 (同、一内)

血中ミオシン軽鎖I (LCI) 測定の意味につき検討した。血中LCI 測定にはImmunoradiometric assay (IRMA) 法を用い、健常人の血中LCI 値は全例2.5ng/ml以下であった。急性心筋梗塞患者15例につき入院直後から連日血中LCI 値を測定したところ、発作後2~6日目に血中LCI 値のPeak値が認められ、6.6~88.3ng/mlの範囲に分布した。これらのうち8例で同時に測定した血中CPK 値は、7例は24時間以内にPeak値を示した。一方、陳旧性心筋梗塞患者5例での血中LCI 値は、0.4ng/ml以下~3.5ng/mlで、急性および陳旧性心筋梗塞を除く他の疾患患者では、0.4ng/ml以下~1.4ng/mlであった。

284 IRMAによる血清ミオシン軽鎖Iの測定:心筋障害の評価

森田浩一, 小野志磨人, 大塚信昭, 永井清久, 福永仁夫 (川崎医大核医学科) 忠岡信一郎, 鼠尾祥三, 沢山俊民 (川崎医大循環器内科)

血清ミオシン軽鎖I(LCI)の測定は、心筋障害の評価に有用とされている。今回、心筋症、筋ジストロフィーおよび不安定狭心症における血清LCI-I値の意義について検討した。拡張型心筋症および心筋アミロイドosisにおいて血清LCIの高値を認めたが、肥大型心筋症 21例中血清LCIの上昇がみられたのは1例のみであった。筋ジストロフィー4例のうち2例に血清LCIの高値を認めたが、CPK-MBの上昇はみられず、骨格筋ミオシンとの交叉反応と考えられた。また、不安定狭心症2例においては、正常域の範囲で経時的な血清LCIの上昇傾向がみられた。これは、血清LCI値は軽度的心筋障害を反映している可能性を示唆するものと考えられた。